

西川 幸江

1	昭和十九年	四月	一日	十九年	六月	三十日	久米川	一部六年
2	十九年	七月	一日	十九年	九月	八日	久米川	一部六年
3	十九年	九月	九日	十九年	十一月	一日	久米川	一部六年
4	十九年	十一月	二日	十九年	十二月	三十一日	久米川	一部六年
5	二十年	一月	一日	二十年	二月	二十三日	久米川	一部六年

その頃マンガ画（くるみちゃん）がはやっていて、それに似せて妙な自画像を描いたりした。日記を書くことが楽しみの一つであった。でもとても 本当の気持ちは書けない、書いてはいけないということをいつも自制していた心が忘れられません。幼な心にきれいごとを書きつらねて、お丸をいただく事ばかり考えていたのでしょうか。

昭和六十三年八月記す

山本 幸江